

平成30年度事業計画(案)

(平成30年10月1日～平成31年9月30日)

昨今の環境問題を取り巻く社会情勢は、特に地球環境をはじめ地域の環境が大きく変化してまいりました。

私達住民もこの問題に大きく関り、今までの自身のライフスタイルからおのずと変革を求められる時代背景へと移り変わってまいりました。

身近では東員町も行財政改革の中に公から民への住民の関りが求められようとしています。当法人も平成16年に法人化以来今日まで会員の皆様に支えられ、法人の基本理念である「ごみゼロ社会の実現」をめざして地域から発信につとめ、行政事業の一翼を担うことで、民の公として今日まで頑張っただけでまいりました、しかしこの活動も行政の一定の評価を得てまいりましたが、創始来13年の歳月とともにスタッフの高齢化が進み継続可能な活動を進めていく上で新たな陣容で組織の見直しが必要となりその努力に努める。

そこで今年度より当団体も早急に従来のボランティア団体と言う概念から一歩前へ踏み出した社会的企業として誰もが参加しやすい環境整備に挑戦してまいります。

記

東員町堆肥化事業

生ごみ堆肥化事業のさらなる普及・啓発に努め、参加世帯数を現在350世帯から370帯を目標とし、拡大に努める

普及・啓発事業

上記の目的達成の為、従来の講演会事業を進化させ、講演会を行政と共催でごみ減量に資する内容で開催し、より多くの市民参加のごみゼロ社会の実現をめざしていきます。

リサイクルステーション、エコキャップの回収をツールに資源の再利用、ごみ減量の大切さを住民と共に共有し、拡大に努める。

当法人が継続可能で尚自立可能な財源の確保に努める。

継続的な活動を行うには、常にファンドレジングを執行部が共有し、その為に蓄積したネットワーク、ノウハウを活用するとともに行政委託費の現実にそくした内容に見直し、改善に努める。

活動日

毎週水曜日を作業日として、堆肥化作業を行う。

毎月第2日曜、第3日曜日に、リサイクルステーションを町内ショッピングセンターで行う。

会議

会議を従来の定例方式からスタッフ、理事の多様なライフスタイルで参画でき、意見の述べる機会を作っていく。

毎月第4水曜日に理事会を必要に応じて行う事と改める。